

一、通行者ノ職業氏名 米國ペンシルバニア州ピッツバーグ市

ユナイテッド、エンチニアリクタ、エンド、ファウンドリー會社

設計技師

ケー、ビー、コーラー

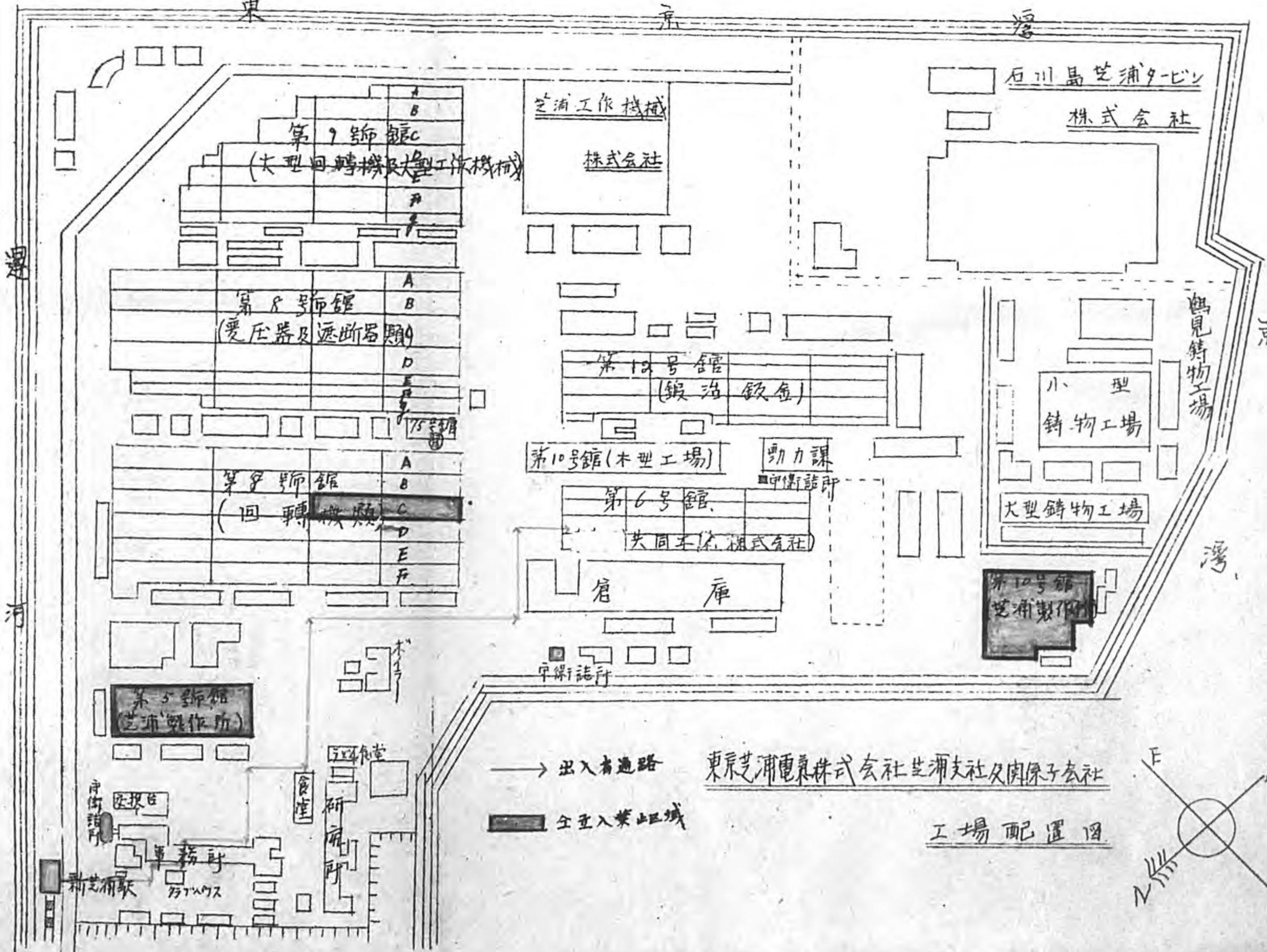
二、通行ノ期間

自昭和十五年十月二十五日
至昭和十六年六月二十四日

三、通行ノ範圍

- 一 昭十四庶觀第十四號ノ添附圖ノ通り事務所ヲ設ケ常時同所ニ於テ執務ヒシム執務時間ハ午前八時半ヨリ午後五時迄トス
- 二 工場内ニ於テ實地指導ニ當ル場合ハ必ず當社ノ責任アル社員附添ヒノ上所定ノ順路ヲ往復ヒシメ單獨ノ通行ハ許ササルコトトス
- 三 當該工場ノ周圍ニ柵ヲ設ケ守衛ヲ配置シ出入者ヲ監視ヒシム
- 四 弊社ノ秘密保持ニツイテハ監督官殿ノ御指示ニ從ヒ適切ナル措置ヲ講シ其確保ヲ期ス

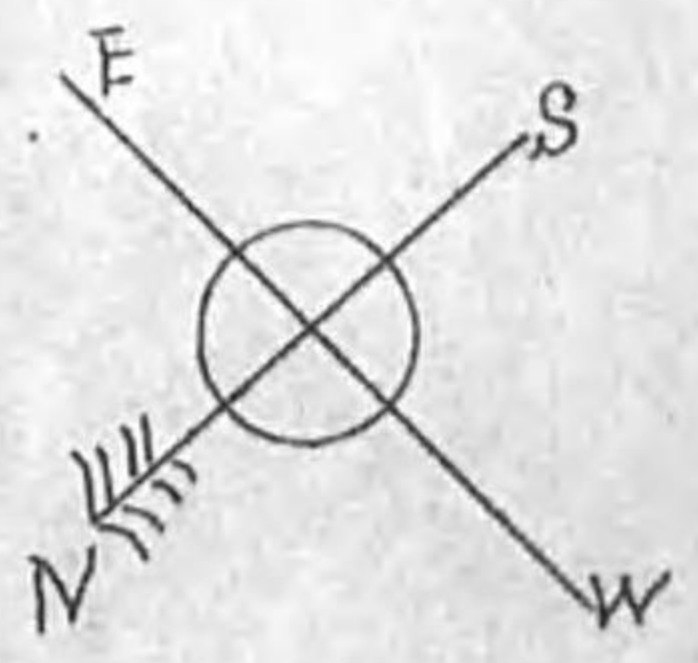
東 京 湾



東

京

湾



第六七號

保存期限 三年
 決裁指定 局長
 執行指定 原

政務次官
 參與官
 回付
 決裁前後連帶
 課名

拾得

受領番號
 件名
 吉才五二五号
 軍馬品工場參觀ノ件
 起元應(課)名
 自產自動車販賣株式会社
 審案
 筆記者

大臣

委

政務次官
 局長
 主務局長

次官
 委
 公

參與官
 高級副官
 主務課長

原

書記官
 主務副官
 官房御用掛
 主務課員

原

戸田

主務局長

番號
 機械貳 第三四號
 昭和拾五年拾月廿八日
 提出
 昭和拾五年拾月廿八日

連帶
 局長

局長

課長

大臣官房

受領
 昭和拾五年拾月廿八日
 了結
 昭和拾五年拾月廿八日

決裁後
 局長

局長

課長

陸

軍

陸 普 副官ヨリ日産自動車販賣株式會社專務取締役へ通牒
十月十九日附願出ニ係ル對滿事務局經濟課員
大森春ニ外三名ノ日産自動車株式會社工場參觀
ノ件許可セラレタルニ付承知相成度
追テ時局柄秘密保持ニ関シテハ特ニ留意セラレ度
爲念申添フ

陸普第七六〇二號

昭和五年十月廿九日

陸 普 副官ヨリ兵器本部總務部長、日産自動車株式會
社取締役社長へ通牒

日産自動車販賣株式會社ヨリ首題ノ件ニ関シ願出有
之タル處別紙ノ通許可セラレタルニ付承知相成度

陸普第七六〇二號 昭和五年十月廿九日

一、參觀工場名

日產自動車株式會社橫濱工場

一、參觀者職業及氏名

對滿事務局 經濟課員

大森春二

駐日滿洲帝國大使官館經濟處主事

橫須賀廣太郎

同

右 事務官

赤木格

關東洲廳關東局東京事務所

主事

百武亥一郎

一、參觀ノ目的

國產自動車製造狀況見學ノ爲

一、參觀日時

十一月二日 自午後一時 至午後三時

一、參觀範圍

參觀規程第三類



日產自動車株式會社工場見學許可願

五二五



一、氏名

對滿事務局 經濟課員

大森春二

駐日滿洲帝國大使館經濟處 主事

橫須賀廣太郎

全

事務官

赤木格

關東州廳關東局東京事務所 主事

百武亥一郎

國產自動車製造狀況見學ノ爲

一、目的

十月二日自午后一時至午后三時

右見學ノ儀御許可被賜度此儀及御願候也

昭和十五年十月十九日

陸軍大臣 東條英機 殿



東京市麹町區丸の内區丁目拾八番地
日產自動車株式會社
專務取締役 朝倉 每人



第六號

保存期限 三年
 決裁指定 局長
 執行指定 原

房官臣大		課局務主		大臣		件名	番號	受領
了結	領受	出提	領受	號番	大臣			
昭和	昭和	昭和	昭和	機械式 第三三三號	委	軍需品工場參觀ノ件	拾年保	政務次官 參與官 回付 決裁前 連帶 課名
年	年	年	年	昭和拾五年拾月廿八日	局長			
五月三十日	十月廿九日	十月廿八日	十月廿八日	連帶	次官	起元廳(課)名	橫濱護謨製造株式會社	決行(決裁)後 回覽課名
局長	局長	局長	局長	主務局長	政務次官			
局長	局長	局長	局長	課長	參與官	書記官	審案	筆記者
局長	局長	局長	局長	主務課員	高級副官			
局長	局長	局長	局長	主務課員	主務副官	審案	筆記者	筆記者
局長	局長	局長	局長	主務課員	主務副官			

陸軍

案

陸 普 副官ヨリ横浜護護製造株式會社取締役社長へ通牒

(兵器本部經由)

十月十六日附第 一五號 第一二六號 願出ニ係ル
首題ノ件許可セラレタルニ付 承知相成度

追テ時局柄秘密保持ニ関シテハ特ニ留意セラ
レ度為念申添フ

陸普第七六〇七號 昭和十五年十月二十六日

陸 普 副官ヨリ海軍省副官へ通牒

横浜護護製造株式會社ヨリ首題ノ件ニ関シ願
出有之タル處別紙ノ通許可セラレタルニ付
承知相成度

陸普第七六〇七號 昭和十五年十月二十六日

一、參觀工場名

横濱護謨製造株式會社

一、參觀者職業及氏名

駐日滿洲帝國大使館經濟處主事 同

事務官

横須賀 赤木

廣太郎

一、參觀月日

昭和十五年十月二十八日

一、參觀部分

タイヤ、ベルト、ホース各工場

一、參觀範圍 參觀規程第三類

5. 除隊後ノ死亡者ニ在リテハ地方醫師ノ診斷證明書

一、死亡事由記載例 (但シ軍屬等ニ在リテハ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル當時ノ任務及死亡事由ヲ成ルヘク詳記スルモノトス)

イ、昭和十二年一月十日滿洲國濱江省哈爾賓ニ於テ猩紅熱ニ罹リ同月二十日哈爾賓陸軍

別紙

陸軍

一、參觀工場名	橫濱護謨製造株式會社
一、參觀者職業及氏名	滿鐵東京事務所鐵道課 岩井一郎 滿鐵牡丹江鐵道局東安自動車區區長 瀨渡清夫 同和自動車株式會社東京事務所 中松吉松
一、參觀月日	昭和十五年十月二十八日
一、參觀部分	タイヤ、ベルト、ホース各工場
一、參觀範圍	參觀規程第三類

謝表ニ於テ謝詞ニ因リテ云

卜、御味十二平一月十日漸降國齋王命爾寔ニ於テ朕孫燕ニ歸リ同日二十日命爾寔齋軍

一、朕、丁、事、山、國、舞、圖(此、軍、國、舞、事、也、其、事、由、當、知、之、事、也)

二、謝、詞、終、ノ、朕、丁、各、ニ、并、リ、テ、ハ、此、丁、謝、詞、ノ、意、漸、舞、圖、也

兵器本部經由
第一一五號

五三四一



外國人工工場參觀許可願

兵器本部	昭和十五年十月二十五日
經由第六七二號	

昭和十五年十月十六日

本件差支十々意見

兵器本部



女町二丁目一三一番地
謨製造株式



陸軍大臣 東條英機 殿

別紙之通り弊工場參觀申出有之候ニ付御許可相成度奉願上候



參觀工場

横濱市鶴見區平安町二丁目一三一番地ノ二
横濱護謨製造株式會社

參觀者職業及氏名

滿鐵東京事務所鐵道課 岩井一郎

滿鐵牡丹江鐵道局東安自動車區區長 瀨渡清夫

同和自動車株式會社 中松吉松
東京事務所

參觀期日

昭和十五年十月二十八日

參觀部分

タイヤ、ベルト、ホース各工場

理由

當社ハ同和自動車株式會社經由滿洲鐵道株式會社ニタイヤ其他ヲ納入シ居ル關係上製品ニ關スル認識ヲ深メル爲參觀申出
アリタルモノナリ

案内者

販賣部 江坂誠、能島通雄

説明内容

原料ヲ輸入ニ仰グガ之ガ原料ヲ最少限度ニ使用シ最モ耐久力

鑑別内容

案内書

アル製品が外國一流會社何等遜色ナキ機械設備ト技術ヲ以テ製造シ居ル現状ヲ簡單ニ説明シ護謄製品製造ニ關スル認識ヲ深クシメ及シテ諸君高懸致

説明ニ當リテハ軍秘ニ觸レザル様充分留意スベシ

モトマ、ハ小イ、ホトク各工務

鑑別日

昭和十五年十月二十八日

東京事務所

同時自動車株式会社

自由車商會

新島洋行自動車部東京支店

商標東京事務所

東京及
各所
各所

鑑別工務

商標市議員平賀西二丁目一三一番街ノ二

新島洋行自動車部東京支店

兵器本部經由
第一一六號



陸軍	昭和十五年十月十六日
兵器本部	經由第 六七三號

外國人工場參觀許可願

昭和十五年十月十六日

本件差支ナキ意見

兵器本部



横濱市鶴見區平安町二丁目一三一番

横濱護膜製造株式



別紙之通り弊工場參觀申出有之候ニ付御許可相成度奉願上候



長	浦田 監督班
庶務	主務



兵器本部經由
第一一六號



陸軍	昭和十五年十月二十五日
兵器本部	經由第一一六號

外國人工場參觀許可願

昭和十五年十月十六日

横濱市鶴見區平安町二丁目一三一番

横濱護謨製造株式會社

陸軍大臣 東條英機 殿



別紙之通り弊工場參觀申出有之候ニ付御許可相成度奉願上候



蒲田監督班	長	庶務主任
-------	---	------



參觀工場

横濱市鶴見區平安町二丁目一三一番地ノ二

横濱護膜製造株式會社

參觀者職
業及氏名

駐日滿洲帝國大使館經濟處主事

横須賀 廣太郎

全 右

赤 木 格

參觀期日

昭和十五年十月二十八日

參觀部分

タイヤ、ベルト、ホース各工場

理由

右ハ滿洲國政府ノ物動關係官ニシテ對日期待護膜製品ノ製造狀況觀察ノタメ取引先同和自動車株式會社ヲ通ジテ參觀申出アリタルモノナリ

案内者

販賣部 江 阪 誠、能 島 通 雄

説明内容

原料ヲ輸入ニ仰グガ之ガ原料ヲ最少限度ニ使用シ最モ耐久力アル製品ヲ外國一流會社ト何等遜色ナト機械設備ト技術ヲ以テ製造シ居ル現状ヲ簡單ニ説明シ護膜製品製造ニ關スル認識ヲ深メシメタシ、説明ニ當リテハ軍秘ニ觸レザル様充分留意スベシ